

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫(記録、写真) 倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成 29)年 5 月 21 日(木) 9:30～15:30

気象：天候=晴、気温(14 時、大阪市)=27.9℃

活動エリア：「4 4 林班に」「4 4 林班い

活動内容：枯損木除伐、伐採放置木の整理と林床整備、水切り溝修復

参加者：猪川 誠、泉家恵子、内田博徳、大津陸郎、斧田一陽、倉谷邦雄、

黒山泰弘、薦田佳一、武田壽夫、福井 誠、宮本 廣、体験参加 1 名 計 1 2 名

<久しぶりの顔も>

仕事の関係で暫く来れなかった方々や体験の方、日曜日と言うこともあり参加 1 2 名と、小屋は久しぶりの賑やかさ。有難いことである。

ヘルメット、鋸、手袋を着用、用具ザックを担いでイザ出発!!。活動地中の最高所、標高 6 0 0 m 超の尾根へと向う。

<今日の活動>

小屋前で事務局長の斧田さんから

- ・向こう 3 ヶ年も引き続き「森林・山村多面的機能発揮事業(林野庁)」として交付金の申請を予定していること
 - ・面積 7 ha(長期放置の天然林 2ha、人工林 5ha)での森林保全活動を行うこと、新しくモニタリング調査区を設定すること
- など今年度の活動内容、並びに安全注意事項の説明あり。

今日の活動場所は天狗杉の尾根を南西に 300m 進んだ人口林との境界辺りから尾根を戻っていく自然林。今後の作業安全を考えて今日は枯損木除伐と倒木処理などの林床整備を重点に置く。3 班に分れ実施。

枯損木の処理は枝掛りするものあり、2～3 本に折れて落ちるものありで、安全な離隔の確保は要注意である。さらに切り倒し放しの大木が重畳する小谷では玉切り・棚積みの際の太さと重さが堪える。それでも、注意喚起の声をかけ合いながら怪我なく約 0.3ha の整備を終えることが出来た。

<今日の一言、それは「ガッカリ」>

作業はスムーズだったが、小屋脇に植え戻しておいた「ヤマザクラ」の幼樹が抜き取られていた。囲いに異常は無いので鹿の仕業とも思えない。一同『ガッカリ』である。写真をご覧頂きたい。

(本文 以上)



集合写真 12名



国有林内の小屋脇に植え戻したヤマザクラ
5月16日



抜き取られた-小屋脇のヤマザクラの跡
5月21日



植林地との境界辺りの「長期放置林」-44 林班に



モニタリング調査区-44 林班に



ヤマザクラの枯損木伐倒



玉切り



玉切り



二人掛りで運ぶ



腐蝕した放置木との格闘



斜面を転がして棚積みする



明るい話題も一曾孫生えの「ツバキ」発見